

事前協議申出

申出書の提出（受付）日を記入
※申出書を郵送される場合は、空白としてください。

(宛先) 京都市長	年 月 日
申出者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市〇〇区〇〇町〇〇番地	申出者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 株式会社〇〇 代表取締役 △△△△ 電話 -

押印
不要

京都市眺望景観創生条例 第15条第1項の規定による協議 第20条第1項の規定による助言 を申し出ます。

敷地	地名及び地番 京都市〇〇区〇〇町〇〇番地	面積 平方メートル
----	-------------------------	--------------

行為の対象	<input checked="" type="checkbox"/> 建築物 <input checked="" type="checkbox"/> 工作物（門、塀）
-------	--

該当するもの全てにチェック
（両方ある場合は両方にチェック）

行為の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築又は新設 <input type="checkbox"/> 増築
-------	--

建築主	住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市〇〇区〇〇町〇〇番地
	氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 株式会社〇〇 代表取締役 △△△△ 電話 -

申出者と建築主は同一
としてください。

設計者	住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市〇〇区〇〇町〇〇番地
	氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 〇〇〇〇
	資格 建築士 登録第〇〇〇〇号 建築士事務所名 <input type="checkbox"/> 建築設計事務所 電話 〇〇〇-〇〇〇〇 <input type="checkbox"/> 〇〇〇〇級建築士事務所 知事登録第 〇〇〇〇号

協議の対象となる工
工作物をすべて記入

建築物に附属する門や塀は工作物と
して記入する必要はありません。
建築物として記入してください。

該当するもの全て
について記入

既存の工作物を記入

建築物等の概要	建築物			工作物		
	申出部分	申出以外の部分	合計	申出部分	申出以外の部分	合計
種類及び用途	ホテル		ホテル	擁壁	塀	擁壁
建築面積	〇平方メートル	平方メートル	〇平方メートル	水平投影面積	〇平方メートル	-平方メートル 〇平方メートル
延べ面積	〇平方メートル	平方メートル	〇平方メートル	延長	〇メートル	〇メートル
建築物の高さ	〇メートル	メートル	〇メートル	工作物の高さ	〇メートル	〇メートル

種類が多く書ききれない場合は、別紙にまとめてください。

景観申請の届出予定年月日を記入

届出予定年月日	〇〇年 〇月 〇日	備考（京都市市街地景観整備条例 京都市風致地区条例）
着工予定年月日	〇〇年 〇月 〇日	完了予定年月日 〇〇年 〇月 〇日

景観申請の根拠法令を記入

プロフィールなどを参考にし、地域の景観特性について読み解いた内容を記入

当該地域の景観上の特性について	(例)・計画地の北側には、世界文化遺産に登録されている〇〇寺がある。 ・計画地に接する〇〇通は、古くから〇〇寺の参道として栄え、現在も杜家町の雰囲気を残した町並みが守られている。 ・計画地の北面には、国の重要文化財に指定されている〇〇神社や〇〇寺がある。
地域ごとの特性に応じた眺望景観の創生を図るため配慮した事項について	(例)・〇〇寺に面する北側は、高層部を大きく後退させるとともに、植栽を多く設けることで、境内からの眺望に配慮した。 ・〇〇通りに面して、当該地域で古くから見られる〇〇土塀を設け、また、部分的に敷地境界から後退し、地域の植生に合わせた植栽を植えることで、〇〇通りの眺望を保全した。 ・町並みに対する圧迫感を低減するため、周辺建物のスケールにあわせた分節化の工夫を図った。 ・隣接する良好な町並みの景観保持のため、低層部には周辺の京町家と連続する庇を設け、外壁の色調をあわせた。

読み解いた内容をどのように計画に反映させたかを具体的に記入

〇〇には、レ印を記入してください。
年月日の欄は、この申出に係る計画が、京都市眺望景観創生条例第11条第1項の規定による届出を要するものである場合にしてください。この場合において、同条第3項の規定により届出があったものとみなされるときは、備考欄に、該当する法律又は条例の規定を記入してください。